

農村振興唱へる人でなぜに氣づかぬ道普請

道路の悪いに不平は無理か黙れぬ證據にや家が減る
郡長のいふこと聞けば

せめて役場と役場に通ふ道路は車道にして欲しい

車乗つたか自動車見たかなどと不幸な村もある

村長のいふこと聞けば

村を富ますは工夫はあれど何より先立つ道普請

私しが在所にや寶はあれど道路がないので持ちくさり

實業家のいふこと聞けば

車かよはず道路さへ出來りやどんな負擔も厭やせぬ

道普請縣費がいらるとて思案はおよし一文惜みに百の損

小學校教員のいふこと聞けば

道路が善くなりや人智も進み仕事も殖えれば富も増す

道路がない故貧村なれど分校四つもある始末

小學生徒のいふこと聞けば

私しの學校峯越し二つ渡る川には橋もない

私しや繪本で見るより外に車といふもの知りはせぬ
村人のいふこと聞けば

道路のないので暮しがつかぬ辛抱して居りや餓ゑじに

何やかんやと租税は取るが道路の一つも附きはせぬ

大正の御代になつてもまだ道路つかぬ里の便利がうらめし

い

隣り村には自動車走る私しが在所はわらぢがけ

道が悪ふて賣るもな出せず買ふもな高うで瘠世帯

若い人々のいふこと聞けば

戀しい殿御の安否を聞けど道路が不便で片だより

思ひ出す度逢びたいけれど逢ひに行けない悪い路

勞働者のいふこと聞けば

どんな苦勞もいとひはせぬが辛抱しきれぬ此の難路

きつい山坂なほしてやらにや馬の苦勞がいぢらしい

(終)

◎雜誌報告主任となつて

神奈川縣道路主事 齋

藤

弘

道路改良會は機關雜誌「道路の改良」を發刊して、地方の道路改良に關する事項を掲載し、以て本會と地方との聯絡をとり、尙一層其の實績を擧げむと欲し、各府縣に牒して、報告主任の人選中なりしが、本縣に於ては不肖圖らずも、其の選に當る光榮之に過ぎたと雖も、庸才菲德の身の、果して克く其の責務を全ふすることを得るや否や、夙夜戰兢寢食を妄むせざるものなり、況や大震災災後に於ける本縣の現狀は百出錯綜せる復興事業の爲め忙殺せらるゝの時なるに於てをや、先哲言へるなり「終日不食、終夜不寢、以思無益、不如學也」と不肖朦朧なりと雖も、勵聲叱咤驚馬に鞭打ちて孜孜歛々以て微力を茲に竭さむ哉。

惟ふに道路改良の事たるや、單に純理學的の研究と異り、國家の發達及國運の進展上焦眉の問題に屬するも、之れに要する經費頗る巨額に達し、且又關係地方の利害休戚に直接影響する處なるを以て、之が施設上幾多の支障と困難とを生じて事業進捗せず、遲々として振はすること牛車の峻坂を攀つるの艱あり。

大阪都市計畫課長岡崎氏は道路改良不振の原因に付本誌第六卷第一號に於て、「吾人をして忌憚なく之を評せしむれば尙ほ其趣旨の徹底を缺く所がある、識者の諒解を得ざる處があ

る、所謂宣傳に不行届が尠なからむと謂はむとする、道路の改良が生産を助長し、消費を節省し、國力の涵養と、個人の生活とに最大の効果を齎らすべきことを理解する者は道路に關する事務を掌理すべき當局者のみであつて、之を外にしては、未だ之を理解せざる者が澤山ある、否甚だしきは此の重要な國家的事業を目して、府縣や都市當局が物好きに行はむとする道樂仕事でもあるが如くに觀察して居る者さへありと思はる、若し果して斯かる誤れる觀察者ありとせば、改良の主腦者たる者先づ以て此の頑迷不實の徒を陶冶し、諒解せしむるは斯業の遂行に於て喫緊なる重要事項ではあるまいか」と論斷せられたり、此點に關しては期せずして不肖も其の所見を同うす。

云ふ迄もなく道路は之を國家構成の血管に譬ふるを得べし、故に其の機能にして健全ならざらむか、健全なる國家の發達は望むべからずして、交通運輸の關係、産業及文化の啓發より、惹ひては又國家經濟の振興上にまで重大なる影響を及ぼすこと必然なり、然り而して今や我邦は農業立國を蟬脱して工業立國の時代に入り、先進文明の列強に伍して、世界的經濟戰線に立ち、以て國家の福祉隆昌と、民力の涵養充實とを期せむが爲め、四民擧つて其の活動能率を高潮するの秋に

會せり、然に社會存立上の重要機關たる我邦の道路は、概して幅員狹隘にして、路面に凹凸多く、交通上常に危険隨伴し外來人をして「日本に道路ありや」の嘆聲を發せしむるに至る、外人の批評尤も忍ぶべしとするも、道路の不完全は以て交通上徒らに多くの時間と無益の勞力とを費やし、加ふるに又運賃の増加、貨物の毀損等物質的並に精神的に受くる吾人の損害枚擧に遑あらず、國家經濟上の損失は勿論、其の存立と發達上とに與ふる障礙誰か尠ならずとせむや。

殊に道路は其の性質上、開設と同時に損壞を伴ふを以て當局者銳意之が修繕に努力し居るに拘らず、尙且其及ぼざるが如きは不肖の深く遺憾とする處なり、然るに從來我邦の道路政策は概ね消極的なるが故に、時に往々姑息に失せるの批難なきにあらざりしも要するに之れ一は道路に關する立法政策の不備缺陷と事業施行上の財源の豊富ならざるに職由するにあらざるやを疑ふ切に當局者の三省を望む。

軌近世界の進歩啓發に伴ひ國家經濟政策の變動と國民活動の熾然とに因り自動車の利用旺盛を極むるに至りしを以て道路改良の急漸く識者間に宣傳せられ政府亦多年の懸案たりし道路法案を第四十一議會に提出して道路改修の計畫を定め、更に府縣道以下の道路を改良して時運の要求に副はしむるを

期し道路法制上に一の刷新的の光明を與たり、其運用の實績に付ては假すに相當の日子を以てせざるべからざるに拘らず偶偶客秋九月一日の大激震は關東地方(東京、神奈川、靜岡、山梨、千葉、埼玉)の巨撃にして、道路橋梁、河川堤防、用惡水路等の被害總額は約二千萬圓に達し交通機關に關する一切の施設計畫は根蒂より破壊し去られたり、嗚呼金城を粉碎し鐵壁を擁破せる震災の暴威誰か悚然として戰慄せざらむや、人之れを天譴なりと謂ふ其の天譴なると否とは不肖の問ふ處にあらざるも、爲に一府五縣の地は縣治上殆ど致命の重傷を受け、土木事業の如きも總ての豫定計畫に意外の蹉跌を生じ、之が復興には今後少くも約四ヶ年の歳月を要す、洵に千秋の恨事たり。

遽莫、由來大和民族は其の特性として一難を経る毎に意氣益々振ひ、危急存亡生死の境に處し從容自重以て國家百年の大計を策立せむとするの概あり、故に對外的には萬國に卓絶せる優秀の國民性を有するも、其の對内的に在りては公徳心の即ち公益觀念に缺陷あるが故に、道路其の他公共的營造物の施設、管理等に對しても冷淡にして放漫なること、恰も對岸の火災に於けるが如し、震災都市の復興並復興工事の遂行上當局が常に苦痛と困難とを感ずる所以亦此の點に存すべし、

是れ畢竟維新以前封建諸侯が故らに交通の便を避け、群雄割據せし當時の餘弊未だ蟬脱せざる結果に外ならずとするも、抑々亦時勢の推移と俱に到る處に鐵道の開通を見るに及び一時道路の必要を閑却せられたるもの其の一因たらざるなきや、而して鐵道と道路とは其の職能各異なれりと雖も、二者互に相倚り相俟て初めて交通機關の効用を完うす、近時道路を利用する各種快速力機關の普及せむとするに當り、交通上道路の價值は益々顯著なるに至れり、之が改良の一日も曠ふすべからざると同時に其の宣傳に關しても亦深甚なる注意を拂ひ以て最善の方法を講ずるの必要なからむや、前横濱都市計畫局長たりし故阪出貞明氏の歐米視察談に依れば米國市俄古に於ては各小學校に「ワツカースマユアル」と題せる同市の都市計畫を説明せし教科書を用ゐ、又同國商務官が自動車市場として日本を觀察せし報告書の一齣に依れば、前略「尙ほ重要と認むべき問題は道路に關する國民的の自覺を促すことにあり而して此の問題は道路の改善に關する機關の發達に伴ひ充分に宣傳せざるべきは米國に於ける先例に依りても然り、東京麴町丸の内に日本唯一の道路に關する研究的團體たる道路改良會あり、會員約三百を有し、會長は社會公共事業に對して多大の趣味を有する濫澤榮

一子爵にして専務に内田嘉吉氏あり、而かも今同會が期待せらるゝ程度の活動を爲し能はざる重なる原因は其の會員中に直接道路改良に關し最も利害の關係深き、道路技師、土木機械製造會社、自動車供給及需者者の如き、夫等階級の人々を廣く網羅せざるが爲めなるべし、若し自動車製造業者の日本に於ける代表者等が是等團體に對し相協力し、其の販賣業者に向つて同様の團體を組織するの目的を以て力説勧誘する處あらば、其結果は道路改善並に自動車發展の上に於て有力なる効果を擧げ得べきことは明かなるべし、而して是等の團體は具體的の道路發展策に對して、其の媒介中種の地位に立脚することに依つて其の進歩發展に對し貢獻する處渺なからざるべきを信するなり」云々以上觀察の當否は暫く措き之を他山の石として以て研くべく、又以て我邦道路改良上如何に民衆的教科宣傳の急務なりや及一面又道路改良會と其の機關雜誌「道路の改良」に期待する處の大なるものあるやを窺知するに足らむ。終に臨み不肖は此機會に於て謹て本會の發展と英才達識なる會員諸君の御健康とを祝し併せて又各位の驥尾に附して本會事業の一端に微力を竭さむことを期す、一言所感を述べ。